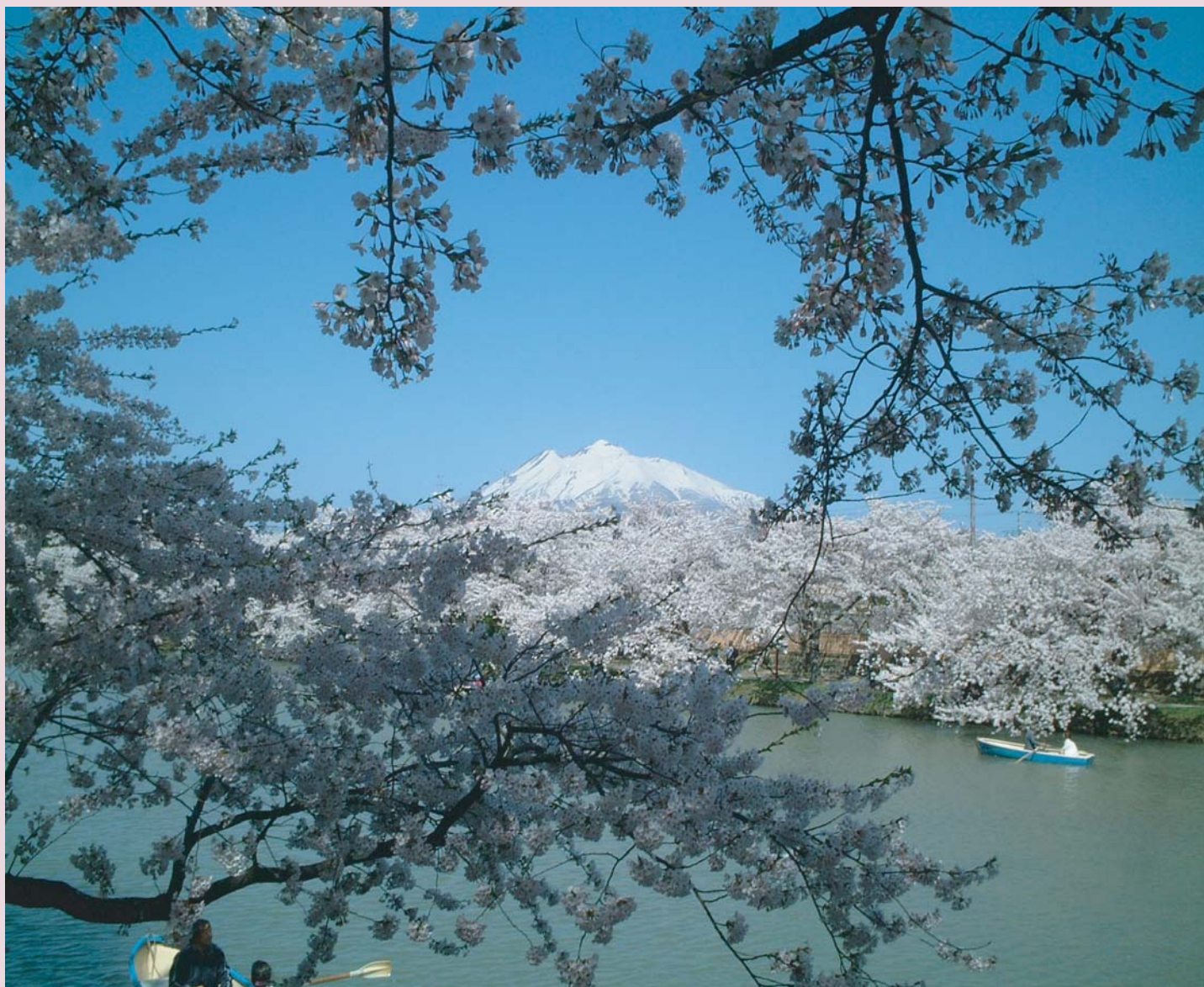


弘前大学学報



弘前市 弘前公園

第 13 号
平成17年 4 月号

学内ニュース

○平成17年度弘前大学入学式告辞	弘前大学長 遠藤正彦	-- 1
○平成17年度弘前大学大学院入学式告辞	弘前大学長 遠藤正彦	-- 4
○平成17年度弘前大学入学式を挙	-----	7
～学部・大学院学生ら1,756名が入学, 附属学校園でも入学式を挙		
○弘前大学名誉博士称号授与式を挙	-----	8

学 事

○学内紀要	-----	9
○外国出張	-----	9

諸 会 議	-----	11
--------------	-------	----

人 事

○新任役員等紹介	-----	15
○人事異動	-----	17

主要日誌	-----	28
-------------	-------	----

学内規則

○弘前大学旧制官立弘前高等学校外国人教師館規程	○弘前大学共用スペース利用細則	} 29
○国立大学法人弘前大学学長候補者選考規程	○国立大学法人弘前大学学長候補者選考規程試行細則	
○国立大学法人弘前大学学長解任手続規程	○国立大学法人弘前大学保有個人情報管理規程	
○国立大学法人弘前大学保有個人情報開示等手続規程	○弘前大学学則の一部改正	
○弘前大学大学院学則の一部改正	○弘前大学における講座に関する規程の一部改正	
○弘前大学医学部規程の一部改正	○弘前大学大学院医学研究科規程の一部改正	
○弘前大学医学部附属病院規程の一部改正	○弘前大学名誉博士称号授与規程の一部改正	
○国立大学法人弘前大学防災管理規程の一部改正	○弘前大学学則の一部改正	
○弘前大学大学院学則の一部改正	○国立大学法人弘前大学管理運営規則の一部改正	
○国立大学法人弘前大学事務組織規程の一部改正	○国立大学法人弘前大学情報公開委員会規程の一部改正	
○国立大学法人弘前大学情報公開取扱規程の一部改正	○弘前大学医学部附属病院規程の一部改正	
○弘前大学における講座に関する規程の一部改正		

告 辞

弘前大学長 遠 藤 正 彦



「丘の日ざしはあかるくて、雑木林のならの芽が、あかくけむって伸びる」と歌に歌われた季節となりました。その春到来の穏やかな今日、平成17年度弘前大学入学式を挙行し、若い意欲あふれる皆さんを新入生として迎えるということを、教職員一同大変嬉しく思っています。皆さん、弘前大学入学おめでとうございます。教職員一同、皆さんを心から歓迎致します。

弘前大学は、昨年4月国立大学法人化され、旧国立大学とは異なって、それぞれの大学の自主・自律が求められ、そして評価と競争の場に立たされています。この競争に打ち勝ち、更なる発展を期すために、活力ある若い皆さんの力を求めています。入学を、満を持して待っていた皆さんは、今日から弘前大学の一員として、勉学に、精神錬磨に、体力作り等に、それぞれ励んで欲しいと強く希望します。皆さんの活躍は、大学の発展そのものであると心して欲しいと願います。

この皆さんの入学した弘前大学は、旧国立の新制大学として、昭和24年5月31日に開学され、今年で56年になります。しかし、その新制弘前大学の前身である各種の学校から数えますと、教育学部の前身・青森師範学校の創立明治9年から数えて実に129年、人文学部、理工学部、農学生命科学部の前身・旧制弘前高等学校の創立大正9年から数えると85年、医学部の前身・青森医学専門学校の創立昭和19年から数えると61年ということになります。本学の歴史は約130年ということになり、旧帝国大学と言われる古い大学の歴史の長さとは、あまり変わりがありませんので、皆さんもこの弘前大学の歴史には、誇りをもっていただきたいと強く希望します。

今お話した旧制弘前高等学校には、旧制弘前高等学校同窓会というのがありますが、会員の方々の高齢化が進んだため、本年5月20日、「旧制弘前高等学校^{せんしゅうばんぜい}千秋萬歳の式典」という記念式典をもって解散することになっています。

そこで、この旧制弘前高等学校で学んで、世に名をなした多くの方々がおられますが、その中の一人、太宰治を中心として、当時の旧制弘前高等学校、そして現在の本学との関係について話をしてみたいと思います。太宰治の文学作品について、皆さんの中には、高等学校の時その作品の幾つかを読んだ人もいるでしょう。その太宰治こそが、皆さんの大先輩に当たるのです。

太宰治は、本名を津島修治と言い、明治42年6月19日青森県北津軽郡金木町の素封家の家に生まれました。彼の生家は、今でも「斜陽館」として保存されております。太宰治は、今から78年前の昭和2年旧制弘前高等学校に入学しました。その旧制弘前高等学校の敷地は、これから皆さんが、教養教育としての21世紀教育を学ぶところの、文京キャンパスそのものです。その旧制弘前高等学校の建っていた文京キャンパスを、昔太宰治はマントを着て高下駄をはいて闊歩し、同級生と青春を語り、文学を語り、政治を語っていたのです。想像すると実に愉快ではありませんか。

当時の弘前高等学校の生徒は、全員が寮で生活するという全寮制であり、その寮は「北溟寮」と称しましたが、今尚本学に、建物は変わりましたが、その名を継続している学寮があります。太宰治は、寮で生活することをせず、旧制弘前高等学校にほど近い、自分の親類に当たる藤田豊三郎氏の家に下宿しておりました。太宰治のこの下宿からの徒歩通学の途中に、当時の弘前高等学校で教鞭をとっていた外国人教師のための宿舎がありました。その宿舎には、英語を教えていたG. パーシー・ブルール先生が住んでおり、その先生から太宰治は高い評価を得ていました。太宰治は、下宿に近く、通学



路の途中にある外国人教師館をしばしば訪ねていたと想像されます。

最近になって、太宰治の下宿していた藤田家の家を取り壊されることになりましたが、後にお話する太宰治の研究者であり、このたびこのことで本学の名誉博士の称号を受けられた小野正文先生を中心として保存運動が起こり、その結果、この藤田家の家を移築しての保存が決まりました。現在、その保存事業が本学の近くで進行中です。

更にこの旧制弘前高等学校外国人教師館も、区画整理のため取り壊されることになりましたが、その直前、

本学の教職員、そして市民の方々の絶大な協力によって、本学の文京キャンパス内に移築し復元されました。それが本年文化庁から国の登録有形文化財として指定を受けることになりました。この旧制弘前高等学校外国人教師館は、弘前市内では数少ない大正時代の建物であり、旧制弘前高等学校の歴史を伝える唯一の建造物であり、そして本学のシンボルの一つです。ぜひこの旧制弘前高等学校外国人教師館を見て、弘前大学の歴史を考えて下さい。

太宰治は、旧制弘前高等学校在学中に、文学やマルキシズムに傾倒し、この高校時代を自由闊達に過ごし、青春を謳歌し、そしてそれが後の太宰治の作家としての歩みの土台となっております。太宰治はその後、東京大学文学部仏文科へ進み、昭和の初期から第二次世界大戦後までを駆け抜けた作家となりました。太宰治の文学やその生き方については、様々な評価があるところですが、本学の歴史上の一人物として、本学としては誇りに思う人物の一人です。

太宰治は、後に出版社より津軽の風土記について執筆を依頼され、「リックサクを背に弁当水筒持参で」、津軽地方を一巡しました。その作品・『津軽』の中に、以下のような文章があります。

『「や！富士。いいなあ。」と私は叫んだ。富士ではなかった。津軽富士と呼ばれてゐる1625メートルの岩木山が、ふわりと浮んでゐる。実際、軽く浮かんでゐる感じなのである。したたるほど眞蒼で、富士山よりもっと女らしく、十二単衣の裾を、銀杏の葉をさかさに立てたようにぱらりとひらいて左右の均斉も正しく、静かに青空に浮かんでゐる。』

この文章に書かれている場所は、太宰治の生誕の地、金木町です。その描写された場所は、太宰治の研究者によってかなり特定されております。その場所は、本学がその金木町に有する農学生命科学部附属生物共生教育研究センターの金木農場と見られております。その金木農場の小高いところから、広く広がる水田を通して岩木山を見ると、正に太宰治の描写通りに見えています。今この広大な金木農場内の各所に、太宰治の作品『津軽』に関わる説明板が設置されております。皆さんもぜひ、太宰治の生誕の地、金木町と本学の金木農場を訪れてみて下さい。

こうして、弘前大学は、弘前大学の前身の青森師範学校、旧制弘前高等学校、青森医学専門学校の歴史を伝える、様々なものの保存に努めています。その一貫として、本学には、以前より本学附属図書館に、「太宰治コーナー」が設置されておりましたが、このたび更にこれを拡大し「太宰治文庫」を開設しました。本学の太宰治文庫は、太宰治の旧制弘前高等学校在学中、特に迫りくる世界大戦という時代を背景にした、太宰治の青春時代の資料に特化しようとしています。

このことに関して、太宰治研究に関わる本学の関係者の中から、お二人の名誉博士がこのたび誕生しました。おひとりはお野正文先生で、旧制弘前高等学校の卒業生であり、太宰治と先輩後輩の関係にある上に、非常に親しい間柄でした。そして、お野先生は本学の教授を勤められ、また太宰治の研究を続け、自らも太宰治に関する





著書を著しました。また、先にお話した太宰治の下宿・藤田豊三郎氏の家の保存を実現させたのも、小野正文先生です。

もうおひとかたは、相馬正一先生です。先生は本学教育学部第1回の卒業生で、高等学校の教諭のかたわら、本学の非常勤講師として太宰治論の講義を13年にも渡り、続けられた後、上越教育大学教授等を歴任し、現在岐阜女子大学名誉教授であり、自らも多数の太宰治に関する著書があり、現在太宰治研究の第一人者と目されている方です。

この御両人による記念講演が、明日文京キャンパスの弘前大学創立50周年記念会館で、新入生の皆さんを対象として開催されます。関心をお持ちの皆さんの参加を希望します。ちなみにこの弘前大学創立50周年記念会館は、旧制弘前高等学校の講堂を模して建てられたものです。

文京キャンパスの弘前大学正門を教育学部に向かって正門通りを行くと、右手に記念広場があり、そこに旧制弘前高等学校を記念した「弘高生青春之像」というモニュメントが建っています。その撰文は前述の小野正文先生によるものですが、その傍らには「旧制弘高在校生名簿」という銘板があり、そこに旧制弘前高等学校に在学した生徒5,325名全員の名前が刻み込まれております。皆さんもこの刻み込まれた生徒の名前の中から、太宰治の本名・津島修治の名を探し出してみてください。

以上、本学の前身の一つ、旧制弘前高等学校で学んだ太宰治について、本学との関わりを述べました。昭和初期日本の文学界を駆け抜けた作家が、その青春時代に本学の前身の一つ、旧制弘前高等学校で学んでいたことは、本学にとっても重要な意味があります。

皆さんにとりましても、弘前大学で学ぶ4年間又は6年間には重要な意味があります。長い人生からいうと、わずかな4年間又は6年間ですが、その4年間又は6年間を如何に過ごすかは、皆さんの将来の方向に、大きな大きな影響を与えます。

国立大学法人弘前大学の使命の第1は、教育にあります。これは学生に対する教育を徹底し、優れた社会人となる人材を育成すること、すなわち人材として保障された社会人を送り出すことです。このため、本学は教育において、「21世紀教育」という名の教養教育と、専門性を身につけるための専門基礎教育を特に重視し、そして、健全なる精神と健全なる肉体を得るための課外活動を奨励しています。皆さんは、この4年間又は6年間を有意義に過ごし、自己の形成に努めて欲しいと願います。これには教職員も全力で応援しています。

私は、本年3月、本学の同窓会の支部・弘前大学東京同窓会の総会に招かれて出席しました。そこに集まった弘前大学の卒業生は、今正に我が国の中央の政治、経済、産業、教育、文化等の領域で、大活躍をしておられる方々でした。恐らく大部分の方々が、今の文京キャンパスとは異なって、設備の悪いキャンパスで学生生活を送ったと思います。しかし一様に青春時代に津軽の弘前大学で学んだことを誇りに思うと、自信に満ちて語っておられました。

皆さんも、これから弘前大学での学生時代を、有意義に過ごされるよう強く希望します。それが、皆さんの将来を決することになります。

皆さんのこれからの有意義な学生時代に、応援のエールを送って、告辞とします。皆さん、おめでとう。

平成17年4月5日

告 辞

弘前大学長 遠 藤 正 彦



大雪で冬が長く感じられた津軽地方にも、雪解けが進み、春が到来しました。この春到来に合わせて、平成17年度弘前大学大学院入学式を挙行し、更なる高度の専門性を身につけようとしている、精悍な面持の諸君を迎えました。諸君、弘前大学大学院入学おめでとう。

国立大学法人化された弘前大学大学院の目標とするところは、高度専門性を身につけた専門職業人の教育と、世界と地元への高度専門情報の発信にあります。そのため、本学大学院は、限りなく知識欲が旺盛で、問題解決型の意欲をもった若い大学院学生を求めてきました。それに選ばれたのが諸君達です。国立大学法人化されたが故に、本学は、諸君達に一層大きい期待を寄せています。諸君、重ねて入学おめでとう。そして期待しています。

本学の大学院にとりまして、今年は記念すべき年でもあります。それは本年4月より大学院医学系研究科保健学専攻が設置され、初めての大学院学生30名を受け入れたことにあります。このことにより、弘前大学は、すべての学部学科に直結した大学院研究科と、それに加えて独立専攻の大学院地域社会研究科を擁することになりました。

この本学の大学院の歴史としては、本学が新制大学として発足した昭和24年から、大学院設置の運動が始まり、56年経た今年になって初めて、全学部全学科にそれぞれ直結した大学院研究科が、設置されたことになりました。地方の大学としての本学は、人文、教育、医学、理工、農学生命科学の、5学部を擁する中規模総合大学であり、地方の大学としては、大学院の完成度が高いので、この大学院で学ぶということに誇りを持って欲しいと願います。そして、諸君は各研究科の壁を越えて、教育研究の交流を図ることにより、より高度の専門性を身につけるチャンスが与えられているので、それを十分に活用して欲しいと願います。今後は残された一部の大学院博士課程の設置が望まれるところです。

ここで、本学の大学院で学び、研究し、素晴らしい成果を挙げた一人の諸君の先輩を、紹介致しましょう。この人の大学院での過ごし方は、諸君のこれからの大学院生活で、極めて参考になると思います。その人の名は、大学院理工学研究科修士課程を、平成16年3月に修了した新矢喜章君です。

新矢君は、北海道の出身で、平成10年4月、理学部の改組により設置されたばかりの、理工学部第一期生として入学し、物質理工学科に所属しました。当時の理工学部は、理学部が理工学部へ改組され、このため他大学から工学系の教員が、多数この理工学部に加わったので、新しい学部を創るという意気込みで、大変活気にあふれており、それは今尚続いております。

新矢君は、卒業研究で物性物理学講座の岡崎禎子助教授の元に配属になりました。新矢君は学生としては、一般の学生と変わることはなかったのですが、その岡崎助教授の元に配属になると、同君は固体物性学に強い興味をいだき、その固体物性学の基本を懸命に勉強しました。同時に、岡崎助教授と共同研究を進めていた、知能機械システム工学科・機械材料機能学講座の古屋泰文教授との合同ゼミにも参加し、古屋教授から金属材料についての指導も受けることができました。同君は、この両教官の指導の元に、「チタン・ニッケル系の形状記憶合金の開発」の研究を行い、この研究を卒業論文・「感温型形状記憶アクチュエータ材料の力学特性」としてまとめました。新矢君について最も幸いしたことは、優れた指導者としての岡崎助教授と古屋教授に出会ったことと、そし



て、同君がこの両教官の教えに強烈な興味をもって食い付いたことにあるとみています。この過程で、金属材料開発の基本とその応用展開について、明瞭なイメージを持つことができ、そして更に強い興味をいただきました。そして、既に内定していた有名大手企業の就職を止めて、大学院への進学を決意し、平成14年4月弘前大学大学院理工学研究科に進学しました。

この時の理工学研究科修士課程も設置されたばかりで、同君は第1期生ということになり、前述の古屋教授の知能機械システム工学専攻に属することになりました。そこで、古屋教授の指導の元に、「複合機能型アク

チュエーター・センサー一体型新材料の研究」という形状記憶合金についての研究に打ち込みました。この古屋教授の研究室自身も発足したばかりで、まだ十分な実験の機械器具は備わっていなかったのですが、古屋教授と新矢君を含む研究室員は、実験装置を手作りし、また時には遠方の大学へ分析機器の借用にも出向きました。

新矢君はここで古屋教授の指導の下に、大学院1年生の秋に、直系10ミクロンという、当時として世界最小の細さの、形状記憶合金であるチタン・ニッケル系合金ファイバーの作製に成功しました。このことにより同君は、平成14年秋、日本金属学会東北支部研究発表会で「学生特別奨励賞」を受賞しました。このことは、平成14年11月2日地元の新報・東奥日報朝刊が「形状記憶合金作動システム開発、世界最速1秒間に350回、超小型精密機械へ応用も」という見出しで、古屋教授と新矢君の写真と共に、大々的に報じています。勿論この研究により知的財産としての特許が取得されました。そして、この成功は国内外から注目を集めました。

こうして大学院生の時、石にもかじりつく思いで行った実験が、大きな成功を収めました。その後、同君の大学院修了後の就職のことで、多数の企業・研究所から同君の引き抜きの誘いがありましたが、これを断り、同君は我が国の有名自動車系大企業の研究部門研究員の公募に応募して受験し、有名国立大学工学部系の応募者を含む二十数名の中から選ばれた、材料系研究員2名の中の1名として、採用になりました。同君は今、自分の今まで培ってきた力を十分に発揮して、有名大学出身の先輩同輩と互角にがんばっております。私は、同君にがんばれとエールを送っています。

岡崎助教授と古屋教授の同君に対する人物像は、あくなき好奇心と、徹夜実験をいとわぬがんばりと、後輩の面倒見の良さということでした。新矢君のように、理系文系に関わらず、一つのことに徹底して立ち向かうことは、時間を要することではありますが、自己を啓発すること、そして大きな成果を挙げることなので、諸君もこれからの大学院の生活の中で、心して努力して欲しいと願います。そのことが諸君の評価を高め、そして諸君の将来を大きく切り開くことになるでしょう。

地方大学の大学院は、重点化された大学院大学より学生定員が少ないということが問題です。しかし、このことはむしろ、大学院学生が大学院指導教員により、マンツーマンでの研究指導を受けられるということを意味しています。本学の大学院学生諸君は、この大学院指導体制を十二分に活用すべきと思います。

今年になって、本学の研究レベルが著しく向上してきていると、学長は実感しています。それは、推薦されてくる学長表彰において、学部学生の卒業論文や大学院学生の学位論文に関することが多くなり、それらはほとんど国際的の一流のジャーナルに受理されたことに基づいています。それは新矢君を始め、本学の大学院の指導が、徹底してマンツーマンで行われているためと思われます。国立大学法人化して、誠に喜ぶべきことであると思っています。

大学院学生が、優れた研究成果を挙げるということは、基本的には大学院学生個人の専門性の高揚を示すものであり、自己の将来の方向付けを行うものであります。このことは、更に大学院学生の個人の評価、すなわち就職や進学において高い評価を得ることとなります。

また、この大学院学生の指導教員にとりましては、指導教員個人の評価が上がるばかりでなく、そ



の指導性をみて更に多数の学生・研究者が集まることであり、このことにより自己の研究の幅を広げることになります。そして、その研究成果によって、文部科学省科学研究費補助金を始めとする、外部資金の導入が容易になることを意味しています。

大学自体としても、全学的研究成果のレベルアップは、外部から高い評価を受けることとなります。国立大学法人化して、6年間の第1期中期目標・中期計画の期間中に、如何に国際的な研究成果を挙げるか、また地元にとりだけ貢献できるかが、評価の対象であります。こうしてみると、諸君の大学院での研究成果

は、大学全体にとっても重要な意味を持っています。

以上、本学における一人の大学院学生の研究の一端を紹介しながら、大学院での研究生活のあり方を述べました。諸君は、このようなことも参考にしながら、これからの短い大学院生活を、有意義に過ごして欲しいと願います。国立大学法人化して、本学では理系に対して機器分析センターを中心とした、大型研究機器の導入による研究の推進が行われております。一方、文系に対しては、図書館の充実をもって研究の推進が行われています。その結果、我が弘前大学の研究の方向が定まり、その成果が確実に伸びているように思います。諸君も弘前大学の文系・理系の研究レベルの向上から見て、弘前大学の将来に大いに期待して良いと思います。一方、我々も諸君の大学院での、学習や研究に大いに期待しております。

諸君の大学院での生活が充実し、勉学研究において多くの成果の挙がることを期待して、告辞とします。

平成17年4月5日

平成17年度弘前大学入学式を挙
～学部・大学院学生ら1,756名が入学
附属学校園でも入学式を挙

国立大学法人となって2度目の弘前大学入学式が、4月5日（火）午前10時から弘前市民会館において各学部の新入生らを迎え、厳かに挙行されました。

式典は、これからの大学生活に期待を膨らます新入生らが待ち受ける中、遠藤学長の入学式告辞で始まりました。

続いて、新入生代表の理工学部笹本恵美さんによる学生宣誓、部局長、役員及び来賓の紹介があり、最後に本学名誉教授の安達弘潮先生の指揮のもと、弘前大学フィルハーモニー管弦楽団及び弘前大学混声合唱団による「弘前大学学生歌」が演奏され、晴れの式典が終了しました。

当日は穏やかな晴天に恵まれ、市民会館前の駐車場では、記念撮影する父兄やサークルへ勧誘しようと様々な趣向を凝らして集まった学生等で、いつもながらの賑やかな歓迎風景が見られました。

また、弘前大学大学院入学式は、同日13時から創立50周年記念会館みちのくホールにおいて、教育学部附属学校園の入学式・入園式は、小・中・養護学校が4月7日（木）、幼稚園が4月11日（月）に各学校園においてそれぞれ執り行われました。

今年度の入学者数は、次のとおりです。

○学部（1,395名）

人 文 学 部	356名
教 育 学 部	257名
医 学 部	283名
理 工 学 部	311名
農 学 生 命 学 部	188名

○3年次編入学（69名）

医 学 部	40名
理 工 学 部	12名
農 学 生 命 学 部	17名

○大学院（292名）

人文社会科学部	15名
教育学部	40名
医学系研究科保健学専攻	30名
医学系研究科医科学専攻	38名
理工学研究科博士前期課程	106名
理工学研究科博士後期課程	9名
農学生命科学研究科	47名
地域社会研究科	7名

○附属学校園（344名）

小 学 校	91名
中 学 校	199名
養 護 学 校	16名
幼 稚 園	38名



弘前大学名誉博士称号授与式を挙

本学では、4月6日（水）、太宰治の研究等に携わり我が国の学術文化の発展に多大の貢献をし、弘前大学の教育研究の進展に顕著な功績のあった小野正文氏（弘前大学元教授）と相馬正一氏（岐阜女子大学名誉教授）に対し、名誉博士の称号を授与しました。

小野正文氏は、旧制青森中学時代に津島礼治氏（太宰治氏の令弟）と同期で、津島修治氏（太宰治）とも交流があり、太宰治を中心とする郷土作家の文学研究に従事し、『津軽の文学と風土』、『北の文脈』など多数の業績を上げております。また氏は、『太宰治をどう読むか』（1962年）の中で、太宰の「罪」と「恥」の意識を、家系の血と窮乏や飢餓による「悪業」を宿命づけられた東北の風土とそれ自体の所産とみる視点を打ち出し、高い評価を得られております。

相馬正一氏は、永らく弘前高校で国語を教授する傍ら、太宰治を中心とする文学研究を行ってられます。氏の研究は太宰の作品とその背景、事実関係について実証的に解明する方法を取っており、『若き日の太宰治』、『太宰治の生涯と文学』など多くの業績がありますが、中でも『評伝太宰治』（初版筑摩書房、改訂版津軽書房、1995年上下2巻）は、太宰関係者とのインタビュー、資料調査を踏まえた実証的研究として「金字塔」と評される研究であります。

授与式終了後には、名誉博士称号受章記念として弘前大学創立50周年記念会館みちのくホールにて、小野正文氏は「太宰治の思い出」、相馬正一氏は「太宰文学の特質」と題した講演会を行いました。講演会では、学生、教職員ら多数の聴講者が出席し、両氏のときにはユーモアも交えた巧みな話術に引き込まれていました。



名誉博士記を授与される小野正文氏（右、遠藤学長）



アカデミックフードを纏った両氏



太宰治の思い出を語る小野正文氏



太宰文学の特質を語る相馬正一氏

学内紀要

医学部、理工学部の研究紀要が、次のとおり刊行されました。

- 医学部
弘前医学第56巻第2-4号（平成17年3月31日発行）
- 理工学部
弘前大学理工学部研究報告第7巻第2号（平成17年3月28日発行）
（Bulletin of the Faculty of Science and Technology, Hirosaki University）

外国出張

職名	氏名	渡航目的	目的国	期間
助教授 (教)	福島 裕敏	「教育改革時代における教師の位置と文化」に関する研究会及び打合せ	大韓民国	17. 4. 2 ～ 17. 4. 5
教授 (医)	加地 隆	米国実験生物学・国際生理学合同学会出席・発表	アメリカ合衆国	17. 4. 1 ～ 17. 4. 7
助手 (医)	中村 吉秀	ミラノ大学における整形外科教育の視察・研修	イタリア共和国	17. 4. 3 ～ 17. 4. 9
教授 (医)	鬼島 宏	第96回アメリカ癌学会出席・発表	アメリカ合衆国	17. 4. 17 ～ 17. 4. 23
助教授 (医)	西川 真史	ホーチミン手の外科学会出席	ベトナム社会主義共和国	17. 4. 6 ～ 17. 4. 10
教授 (医)	奥村 謙	Heart Rhythm 2005 学会出席	アメリカ合衆国	17. 4. 30 ～ 17. 5. 9
教授 (医)	大熊 洋揮	第3回パノニアンシンポジウム出席	ハンガリー共和国	17. 4. 26 ～ 17. 5. 2

職名	氏名	渡航目的	目的国	期間
助教授 (医)	朝日 茂樹	ニアス島地震災害医療チーム2次隊に参加	インドネシア共和国	17. 4. 7) 17. 4. 18
助教授 (医)	小林 恒	第46回韓国口腔顎顔面外科学会出席	大韓民国	17. 4. 20) 17. 4. 24
教授 (医)	佐々木甚一	第3回アジア・オセアニア国際免疫学会に出席	中華人民共和国	17. 4. 17) 17. 4. 30
助手 (病)	木村 大輔	第25回国際心肺移植学会にて資料収集	アメリカ合衆国	17. 4. 5) 17. 4. 10
医員 (病)	鄭 明源	第46回韓国口腔顎顔面外科学会出席・資料収集	大韓民国	17. 4. 20) 17. 4. 24
医員 (研修医) (病)	花田 真之	第46回韓国口腔顎顔面外科学会出席・資料収集	大韓民国	17. 4. 20) 17. 4. 24
教授 (農生)	檜垣 大助	JICA インドネシア・火山地域総合防災短期専門家派遣	インドネシア共和国	17. 4. 2) 17. 4. 15

■ 諸 会 議

▼ 役員会

4月4日（月）

審議事項

- 1 「国立大学法人弘前大学管理運営規則の一部改正」の教育研究評議会への付議について
- 2 「国立大学法人弘前大学職員就業規則」ほか就業関係規程の一部改正及び制定の承認について
- 3 平成17年度予算実施計画について

報告事項

- 1 附属図書館長の任命について
- 2 平成16年度内部監査結果報告書について
- 3 平成17年度会計監査人の選任について
- 4 平成16年度戦略的経費について
- 5 弘前大学入学試験八戸試験場設置について
- 6 旧制弘前高等学校同窓会解散式について
- 7 その他の報告

4月11日（月）

審議事項

- 1 「国立大学法人弘前大学管理運営規則の一部改正」の連絡調整会議への付議について
- 2 「国立大学法人弘前大学における教員の任期に関する規程の一部改正」の教育研究評議会への付議について
- 3 内部監査結果への対応について

報告事項

- 1 弘前大学地域共同研究センター規程の一部改正について
- 2 平成16年度学内活性化事業推進経費について
- 3 弘前大学入学試験八戸試験場について
- 4 弘前大学案内の作成について
- 5 平成16年度就職内定状況について

4月18日（月）

審議事項

- 1 学内諸規則の一部改正及び制定の承認について
 - (1) 国立大学法人弘前大学管理運営規則の一部改正
 - (2) 弘前大学学則の一部改正
 - (3) 弘前大学公開講座講習料に関する規程の制定
 - (4) 弘前大学農学生命科学部規程の一部改正
 - (5) 弘前大学農学生命科学研究科規程の一部改正
 - (6) 国立大学法人弘前大学における教員の任期に関する規程の一部改正
- 2 「国立大学法人弘前大学管理運営規則の一部改正」の教育研究評議会への付議について

報告事項

- 1 会計検査院による会計実地検査の実施について

4月25日（月）

審議事項

- 1 国立大学法人弘前大学役員給与規程の一部改正の承認について

報告事項

- 1 学長説明会について
- 2 平成16事業年度に係る業務の実績に関する報告書（素案）について
- 3 弘前大学における危機管理及び弘前市総合防災訓練について
- 4 科学研究費補助金年度別申請・採択状況について
- 5 運営会議の進め方について

▼教育研究評議会

4月12日（火）

審議事項

- 1 学長選考会議委員の選出について
- 2 学内諸規則の一部改正及び制定について
 - (1) 国立大学法人弘前大学管理運営規則の一部改正
 - (2) 弘前大学学則の一部改正
 - (3) 弘前大学公開講座講習料に関する規程の制定
 - (4) 弘前大学農学生命科学部規程の一部改正
 - (5) 弘前大学大学院農学生命科学研究科規程の一部改正
- 3 その他

報告事項

- 1 平成17年度年度計画について
- 2 学長選考会議報告
- 3 教員人事について
 - (1) 教員の採用・昇任
- 4 平成17年度弘前大学入学者選抜個別学力検査の実施結果について
- 5 理工学部学科構成の変更について
- 6 平成17年度「特色ある大学教育支援プログラム」申請書について
- 7 平成18年度21世紀教育カリキュラム改正骨子（案）について
- 8 平成16年度戦略的経費について
- 9 平成16年度学内活性化事業推進経費について
- 10 平成17年度予算実施計画について
- 11 文部科学省による平成17年度大学国際戦略本部強化事業への申請について
- 12 放射線管理状況報告に際しての放射性同位元素等に関する点検及び報告について
- 13 社団法人国立大学協会入試委員会報告
- 14 委員会報告
 - (1) 21世紀教育センター運営委員会
 - (2) 教育・学生委員会
 - (3) 研究・施設マネジメント委員会
- 15 その他

▼経営協議会

4月19日（火）

審議事項

- 1 国立大学法人弘前大学役員給与規程の一部改正について
-

-
- 2 学外から依頼される職員録への掲載について
 - 3 その他

報告事項

- 1 平成17年度年度計画について
- 2 平成17年度予算実施計画について
- 3 平成17年度会計監査人の選任について
- 4 平成16年度戦略的経費について
- 5 監査室の内部監査について
- 6 管理運営組織の見直しについて
- 7 その他

▼総務委員会

4月26日（火）

議 題

- 1 特別調整額の支給対象等の見直しについて
- 2 総合文化祭推進委員会委員の推薦について

▼教育・学生委員会

4月27日（水）

議 題

- 1 教育・学生委員会の運営について
- 2 学則及び大学院学則の一部改正（案）について
- 3 平成18年度学年歴について
- 4 平成16年度「学生による授業評価アンケート」の公表等について
- 5 平成17年度インターンシップ実施日程（案）について
- 6 平成18年度東北地区大学総合体育大会参加学生の選手・協力要員の授業欠席の取扱いについて
- 7 総合文化祭推進委員会委員の選出について
- 8 平成16年度入学者選抜方法調査研究報告書の作成について
- 9 その他
 - (1) 卒業生に対するアンケート調査について
 - (2) 1日体験入学について（木造高等学校）

報告事項

- 1 「教員のための学生指導の手引き」について
- 2 平成17年度「特色ある大学教育支援プログラム」及び「現代的教育ニーズ取組支援プログラム」について
- 3 平成17年度公開講座「高・大連携高校生セミナー」受講者について
- 4 平成17年度前期「弘前学院大学との単位互換」特別聴講学生について
- 5 平成17年度入学料免除者の決定について
- 6 家庭教師のアルバイトに関する苦情について
- 7 学園だより編集協力教員について
- 8 東北地区国立大学法人学生課長会議について
- 9 その他
 - (1) 高等学校訪問について
 - (2) 新入生の休学について
 - (3) 大学案内の作成について

▼研究・施設マネジメント委員会

4月8日（金）

議 題

- 1 競争的資金等に関する個人調書の作成について

報告事項

- 1 平成16事業年度に係る実績に関する報告書（最終）について
- 2 平成17年度年度計画について
- 3 平成17年度大学国際戦略本部強化事業の応募について
- 4 平成17年度大学教育の国際化推進プログラム（海外先進教育実践支援）の学内応募状況について
- 5 平成17年度弘前大学内地研究員の応募について
- 6 旧制官立弘前高校外国人教師館専門委員会について
- 7 平成17年度弘前大学共用スペースの利用許可について
- 8 文京町地区道路等の名称決定について
- 9 弘前大学文京町団地契約電力の更改について
- 10 旧糖鎖工学研究所について
- 11 その他

▼社会連携委員会

4月28日（木）

議 題

- 1 弘前大学総合文化祭推進委員会委員の推薦について
- 2 その他

報 告

- 1 青森県との連携について
- 2 弘前市との連携について
- 3 正門設置モニターについて
- 4 その他

▼21世紀教育センター運営委員会

4月26日（火）

報告事項

- 1 センター長報告
- 2 専門委員会報告
 - (1) 教務専門委員会
 - (2) FD・広報専門委員会
 - (3) 点検・評価専門委員会
- 3 教育・学生委員会報告
- 4 科目主任会報告
- 5 その他の報告

審議事項

- 1 平成17年度開講計画の変更について
- 2 平成17年度前期開講時の対応について
- 3 平成17年度北東北国立3大学単位互換（集中授業方式）による受入科目について
- 4 その他

新任役員紹介



理事
ナカヤマ フシオ
中山 文夫

中山国立オリンピック記念青少年総合センター総務部長が、平成17年4月1日付けで、本学理事(財務担当)に発令されました。

新任部課長等紹介



財務部長
オイカワ ヨウキ
及川 洋輝

及川東北大学病院経営調整シニアディレクターが、平成17年4月1日付けで、本学財務部長に発令されました。



学務部長
ヨシダ タイラ
吉田 平

吉田秋田大学総務部長が、平成17年4月1日付けで、本学学務部長に発令されました。



施設環境部長
イチカワ ミツオ
市川 三男

市川東北大学施設部整備課長が、平成17年4月1日付けで、本学施設環境部長に発令されました。



医学部附属病院事務部長
ニシダ ヒトシ
西田 均

西田医学部事務部長が、平成17年4月1日付けで、同学部附属病院事務部長に発令されました。



総務課長
ミウラ シン
三浦 新

三浦独立行政法人国立女性教育会館総務課長が、平成17年4月1日付けで、本学総務部総務課長に発令されました。



学術情報課長
イガラシ テルオ
五十嵐輝雄

五十嵐学術情報部情報管理課長が、平成17年4月1日付けで、同部学術情報課長に発令されました。



情報基盤課長
アダチ ユウイチ
安達 雄一

安達東北大学広報・情報部情報推進課情報システム第二係長が、平成17年4月1日付けで本学学術情報部情報基盤課長に発令されました。



医学部事務長
イシザキ タカシ
石崎 孝志

石崎医学部医事課課長補佐が、平成17年4月1日付けで、同学部事務長に発令されました。



医学部附属病院経営企画室長
フシオ フルカワ
古川 文男

古川医学部管理課課長補佐が、平成17年4月1日付けで、同学部附属病院経営企画室長に発令されました。



医学部附属病院総務課長
サウ ヨウセイ
佐藤 洋正

佐藤医学部総務課長が、平成17年4月1日付けで、同学部附属病院総務課長に発令されました。

新任部課長等紹介



医学部附属病院管理課長

ナリタ ヒロアキ
成田 博昭

成田独立行政法人高等専門学校機構宮城工業高等専門学校会計課長が、平成17年4月1日付けで、本学医学部附属病院管理課長に発令されました。



医学部附属病院医事課長

オザワ ヒロシ
小澤 浩

小澤医学部医事課長が、平成17年4月1日付けで、同学部附属病院医事課長に発令されました。

新任教授紹介



教育学部

ヒライ ジュンジ
平井 順治 (専攻:教員養成
カリキュラム研究開発)

平井青森市立浪打中学校校長が、平成17年4月1日付けで、本学教育学部附属教員養成学研究開発センター教授に発令されました。



医学部

チバ ショウジ
千葉 正司 (専攻:放射線技術科学)

千葉新潟大学医歯学系助教授が、平成17年4月1日付けで、本学医学部教授に発令されました。



医学部

イワタ マナブ
岩田 学 (専攻:理学療法学)

岩田医学部助教授が、平成17年4月1日付けで、同学部教授に発令されました。



理工学部

フクダ マコト
福田 眞 (専攻:機械システム工学)

福田日本電信電話(株)NTTマイクロシステムインテグレーション研究所主幹研究員が、平成17年4月1日付けで、本学理工学部教授に発令されました。



農学生命科学部

カサイ ミツヒロ
葛西 身延 (専攻:植物生理学)

葛西農学生命科学部助教授が、平成17年4月1日付けで、同学部教授に発令されました。



農学生命科学部

ハシモト マサル
橋本 勝 (専攻:天然物有機科学)

橋本農学生命科学部助教授が、平成17年4月1日付けで、同学部教授に発令されました。



農学生命科学部

サノ テルオ
佐野 輝男 (専攻:植物病理学)

佐野農学生命科学部助教授が、平成17年4月1日付けで、同学部教授に発令されました。

人 事 異 動

[採 用]

発令 年月日	現職(所属)	氏名	異動内容
17. 4. 1		中山 文夫	理事
17. 4. 1		及川 洋輝	財務部長
17. 4. 1		吉田 平	学務部長
17. 4. 1		市川 三男	施設環境部長
17. 4. 1		三浦 新	総務課長(総務)
17. 4. 1		安達 雄一	情報基盤課長(学術)
17. 4. 1		成田 博昭	管理課長(病院)
17. 4. 1		小立 啓	事務職員(総・人)
17. 4. 1		滝川 翼	事務職員(術・基)
17. 4. 1		鈴木 金逸	事務職員(施・環)
17. 4. 1		橋本 美佐子	事務職員(術・術)
17. 4. 1		鎌田 貴己	事務職員(人文)
17. 4. 1		中村 文彦	助教授(人文)
17. 4. 1		加藤 恵吉	助教授(人文)
17. 4. 1		平野 潔	講師(人文)
17. 4. 1		平井 順治	教授(教員養成学研究開発センター)
17. 4. 1		福島 裕敏	助教授(教員養成学研究開発センター)
17. 4. 1		中野 博之	助教授(教育)
17. 4. 1		小林 央美	助教授(教育)
17. 4. 1		山田 秀和	講師(教育)
17. 4. 1		釜崎 太	講師(教育)
17. 4. 1		千葉 正司	教授(医学)
17. 4. 1		山田 俊幸	助教授(医学)
17. 4. 1		新井 正康	助教授(医学)
17. 4. 1		山田 勝也	助教授(医学)
17. 4. 1		中野 高広	講師(医学)
17. 4. 1		井瀧 千恵子	講師(医学)
17. 4. 1		西澤 雄介	助手(医学)
17. 4. 1		木村 正臣	助手(医学)
17. 4. 1		佐藤 冬樹	助手(医学)
17. 4. 1		高橋 一平	助手(医学)
17. 4. 1		藤枝 弘樹	助手(医学)
17. 4. 1		森山 朋子	助手(医学)
17. 4. 1		村上 千恵子	助手(医学)
17. 4. 1		照井 健	助手(医学)
17. 4. 1		谷口 哲	助手(医学)
17. 4. 1		田村 有	助手(医学)
17. 4. 1		朱 剛	助手(医学)
17. 4. 1		櫻井 智徳	助手(医学)
17. 4. 1		高橋 賢次	助手(医学)
17. 4. 1		岩本 純子	助手(医学)
17. 4. 1		吉田 英樹	助手(医学)
17. 4. 1		扇野 綾子	助手(医学)
17. 4. 1		工藤 うみ	教務職員(医学)
17. 4. 1		高畑 武功	助手(病院)

[採用]

発令年月日	現職(所属)	氏名	異動内容
17. 4. 1		藤 本 幸 士	助手(病院)
17. 4. 1		小 林 孝 男	助手(病院)
17. 4. 1		柳 町 幸	助手(病院)
17. 4. 1		菊 池 淳 宏	助手(病院)
17. 4. 1		木 村 大 輔	助手(病院)
17. 4. 1		田 茂 和 歌 子	助手(病院)
17. 4. 1		油 川 修 一	助手(病院)
17. 4. 1		小 野 睦	助手(病院)
17. 4. 1		森 次 龍 太	助手(病院)
17. 4. 1		安 田 京	助手(病院)
17. 4. 1		長 畑 守 雄	助手(病院)
17. 4. 1		近 藤 英 宏	助手(病院)
17. 4. 1		木 村 秀 崇	助手(病院)
17. 4. 1		棟 方 聡	助手(病院)
17. 4. 1		榊 宏 剛	助手(病院)
17. 4. 1		谷 津 祐 市	助手(病院)
17. 4. 1		櫻 庭 弘 康	助手(病院)
17. 4. 1		福 田 眞	教授(理工)
17. 4. 1		豊 田 宏	助手(理工)
17. 4. 1		村 上 浩 平	教務職員(理工)
17. 4. 1		本 多 和 茂	助教授(農生)
17. 4. 1		佐 藤 友 暁	助教授(総合情報処理センター)
17. 4. 1		小 山 内 公 子	教頭(附幼)
17. 4. 1		建 部 美 幸	教諭(附幼)
17. 4. 1		建 部 拓	教諭(附小)
17. 4. 1		笹 木 朋 美	教諭(附小)
17. 4. 1		室 谷 幸 代	教諭(附小)
17. 4. 1		須 藤 早 苗	教諭(附小)
17. 4. 1		木 戸 公 次	教諭(附小)
17. 4. 1		今 牧 人	教諭(附中)
17. 4. 1		高 橋 み どり	教諭(附中)
17. 4. 1		鳴 海 光 司	教諭(附中)
17. 4. 1		柴 田 郁 子	教諭(附中)
17. 4. 1		水 島 英 盛	教諭(附中)
17. 4. 1		倉 橋 朋 秀	教諭(附中)
17. 4. 1		太 田 恵 美 子	教諭(附中)
17. 4. 1		高 橋 行 吉	教頭(附養)
17. 4. 1		岩 松 裕 子	教諭(附養)
17. 4. 1		宮 永 佐 知 子	教諭(附養)
17. 4. 1		和 泉 眞 由 美	教諭(附養)
17. 4. 1		村 田 眞 奈 美	教諭(附養)
17. 4. 1		佐 藤 幸 夫	診療放射線技師(病院)
17. 4. 1		小 島 章 弘	医療技術職員(病院)
17. 4. 1		細 井 一 広	薬剤師(病院)
17. 4. 1		岡 村 祐 嗣	薬剤師(病院)
17. 4. 1		福 士 理 沙 子	看護師(病院)
17. 4. 1		小 野 晃 子	看護師(病院)
17. 4. 1		中 村 香 織	看護師(病院)
17. 4. 1		大 國 香 織	看護師(病院)
17. 4. 1		工 藤 文 子	助産師(病院)

[採用]

発令年月日	現職(所属)	氏名	異動内容
17.4.1		渋谷 恵子	助産師(病院)
17.4.1		佐藤 育美	看護師(病院)
17.4.1		細川 友美	看護師(病院)
17.4.1		菊池 公子	看護師(病院)
17.4.1		中村 真実	看護師(病院)
17.4.1		鎌田 友佳子	看護師(病院)
17.4.1		三浦 和	看護師(病院)
17.4.1		小田 桐和恵	看護師(病院)
17.4.1		川井 美鈴	看護師(病院)
17.4.1		中村 真由美	看護師(病院)
17.4.1		高谷 信后	看護師(病院)
17.4.1		前田 瑞穂	看護師(病院)
17.4.1		木村 美沙世	看護師(病院)
17.4.1		高田 佐知子	看護師(病院)
17.4.1		漆館 千恵	看護師(病院)
17.4.1		高橋 薫	看護師(病院)
17.4.1		田中 智子	看護師(病院)
17.4.1		對馬 政子	看護師(病院)
17.4.1		蛭沢 仁代	看護師(病院)
17.4.1		石岡 朋子	看護師(病院)

[昇任]

発令年月日	現職(所属)	氏名	異動内容
17.4.1	課長補佐(医・事)	石崎 孝志	事務長(医学)
17.4.1	課長補佐(医・管)	古川 文男	経営企画室長(病院)
17.4.1	社会連携グループ係長(術・社)	佐々木 輝雄	事務長補佐(教育)
17.4.1	決算グループ主任(財・経)	庄司 聡	決算グループ係長(財・経)
17.4.1	人事グループ主任(総・人)	木村 洋	学務グループ係長(医・医)
17.4.1	入院主任(医・事)	小山 真樹子	医事グループ係長(病・事)
17.4.1	学生支援主任(医・学)	加藤 勇樹	附属施設グループ係長(農生)
17.4.1	技術職員(術・管)	須藤 勝弘	情報基盤グループ技術専門職員(術・基)
17.4.1	事務職員(財・財)	長谷川 公栄	総務情報グループ主任(財・財)
17.4.1	事務職員(財・財)	坂本 良紀	経理グループ主任(財・経)
17.4.1	事務職員(医・管)	鳥潟 貴	総務グループ主任(医・医)
17.4.1	事務職員(医・総)	後藤 真吾	総務グループ主任(病・総)
17.4.1	事務職員(医・管)	一戸 由紀子	調達グループ主任(病・管)
17.4.1	事務職員(理工)	山形 浩貴	総務グループ主任(理工)
17.4.1	講師(教育)	高橋 俊哉	助教授(教育)
17.4.1	助教授(医学)	岩田 学	教授(医学)
17.4.1	講師(医学)	欠畑 誠治	助教授(医学)
17.4.1	講師(医学)	尾田 敦	助教授(医学)
17.4.1	助手(医学)	楠 美智巳	講師(医学)
17.4.1	講師(病院)	坪 敏仁	助教授(病院)
17.4.1	助手(医学)	松井 淳	講師(病院)
17.4.1	看護師長(病院)	砂田 弘子	看護部長(病院)
17.4.1	看護師長(病院)	安部 よし子	副看護部長(病院)
17.4.1	副看護師長(病院)	村上 裕子	看護師長(病院)
17.4.1	副看護師長(病院)	福士 明美	看護師長(病院)
17.4.1	副看護師長(病院)	松田 和子	看護師長(病院)

[昇任]

発令年月日	現職(所属)	氏名	異動内容
17. 4. 1	看護師(病院)	三 上 ゆみ子	副看護師長(病院)
17. 4. 1	助産師(病院)	浜 谷 みゆき	副看護師長(病院)
17. 4. 1	看護師(病院)	岩 谷 乗 子	副看護師長(病院)
17. 4. 1	看護師(病院)	小 山 内 由美子	副看護師長(病院)
17. 4. 1	看護師(病院)	齋 藤 まり子	副看護師長(病院)
17. 4. 1	看護師(病院)	木 村 美 佳	副看護師長(病院)
17. 4. 1	薬剤師(病院)	佐 藤 淳 也	薬品管理主任(病院)
17. 4. 1	助教授(農生)	葛 西 身 延	教授(農生)
17. 4. 1	助教授(農生)	橋 本 勝	教授(農生)
17. 4. 1	助教授(農生)	佐 野 輝 男	教授(農生)

[配置換]

発令年月日	現職(所属)	氏名	異動内容
17. 4. 1	事務部長(医学)	西 田 均	事務部長(病院)
17. 4. 1	情報管理課長(学情)	五 十 嵐 輝 雄	学術情報課長(学情)
17. 4. 1	総務課長(医学)	佐 藤 洋 正	総務課長(病院)
17. 4. 1	医事課長(医学)	小 澤 浩	医事課長(病院)
17. 4. 1	課長補佐(医・総)	對 馬 幸 雄	課長補佐(学・教)
17. 4. 1	課長補佐(学・教)	小 林 善 幸	課長補佐(学・生)
17. 4. 1	課長補佐(施・整)	須 藤 光 春	課長補佐(施・環)
17. 4. 1	課長補佐(術・管)	齋 藤 穂	課長補佐(術・術)
17. 4. 1	課長補佐(医・学)	岡 崎 耕 衛	事務長補佐(医学)
17. 4. 1	課長補佐(学・生)	樺 澤 美 代 子	事務長補佐(医学)
17. 4. 1	課長補佐(医・管)	工 藤 泰 民	経営企画室室長補佐(病院)
17. 4. 1	課長補佐(医・総)	長 内 登	課長補佐(病・総)
17. 4. 1	課長補佐(医・管)	笹 森 守	課長補佐(病・管)
17. 4. 1	事務長補佐(教育)	高 谷 芳 雄	課長補佐(病・事)
17. 4. 1	課長補佐(医・事)	奈 良 岡 喜 八	課長補佐(病・事)
17. 4. 1	総務係長(医・学)	三 上 伸 悦	人事グループ係長(総・人)
17. 4. 1	人事グループ係長(総・人)	田 澤 誠	経理グループ係長(財・経)
17. 4. 1	卒後研修係長(医・総)	長 尾 久 好	総務企画グループ係長(学・教)
17. 4. 1	病院施設グループ係長(施・環)	佐 山 卓 男	構内設備グループ係長(施・環)
17. 4. 1	構内設備グループ係長(施・環)	成 田 治 二	本町施設グループ係長(施・環)
17. 4. 1	施設管理グループ係長(施・整)	田 澤 一 徳	本町施設グループ係長(施・環)
17. 4. 1	資料管理グループ係長(術・管)	三 上 豊	資料管理グループ係長(術・術)
17. 4. 1	情報サービスグループ係長(術・情)	工 藤 弘 文	情報サービスグループ係長(術・術)
17. 4. 1	総務グループ係長(教育)	菊 池 良 一	総務グループ係長(人文)
17. 4. 1	総務グループ係長(理工)	笹 森 利 通	総務グループ係長(教育)
17. 4. 1	医療支援係長(医・事)	盛 純 子	総務グループ係長(教育)
17. 4. 1	人事係長(医・総)	長 澤 淳	医学科総務グループ係長(医学)
17. 4. 1	医療材料係長(医・管)	船 水 芳 弘	医学科総務グループ係長(医学)
17. 4. 1	学務第一係長(医・学)	小 野 和 明	医学科学務グループ係長(医学)
17. 4. 1	大学院係長(医・学)	葛 西 一 宏	医学科学務グループ係長(医学)
17. 4. 1	庶務第二係長(医・総)	齋 藤 伸 雄	保健学科グループ係長(医学)
17. 4. 1	学務第二係長(医・学)	國 包 勝 榮	保健学科グループ係長(医学)
17. 4. 1	経営管理係長(医・管)	西 谷 裕 儀	経営企画室分析調査グループ係長(病院)
17. 4. 1	経営分析係長(医・管)	工 藤 慶 伸	経営企画室分析調査グループ係長(病院)
17. 4. 1	庶務第一係長(医・総)	唐 牛 孝 明	総務グループ係長(病・総)

[配置換]

発令年月日	現職(所属)	氏名	異動内容
17. 4. 1	広報企画係長(医・総)	菊池 學	総務グループ係長(病・総)
17. 4. 1	総務グループ係長(人文)	佐々木 幸雄	総務グループ係長(病・総)
17. 4. 1	職員係長(医・総)	佐藤 知己	総務グループ係長(病・総)
17. 4. 1	総務係長(医・管)	佐藤 悟	管理グループ係長(病・管)
17. 4. 1	財務係長(医・管)	長谷川 直生	管理グループ係長(病・管)
17. 4. 1	経理係長(医・管)	佐々木 健一	管理グループ係長(病・管)
17. 4. 1	管理係長(医・管)	小田 桐昭人	調達グループ係長(病・管)
17. 4. 1	外部資金係長(医・管)	土岐 祐子	調達グループ係長(病・管)
17. 4. 1	用度係長(医・管)	千葉 靖穂	調達グループ係長(病・管)
17. 4. 1	医事係長(医・事)	中野 公雄	医事グループ係長(病・事)
17. 4. 1	収入係長(医・事)	會津 祐子	医事グループ係長(病・事)
17. 4. 1	医療安全係長(医・事)	吉田 操	医事グループ係長(病・事)
17. 4. 1	診療報酬審査係長(医・事)	笹森 信子	医療サービスグループ係長(病・事)
17. 4. 1	外来係長(医・事)	小笠原 裕一	医療サービスグループ係長(病・事)
17. 4. 1	入院係長(医・事)	對馬 浩徳	医療サービスグループ係長(病・事)
17. 4. 1	情報調査係長(医・事)	渡辺 弥	医療情報グループ係長(病・事)
17. 4. 1	附属施設グループ係長(農生)	成田 勇一	医療情報グループ係長(病・事)
17. 4. 1	医療情報管理係長(医・事)	竹内 誠	医療情報グループ係長(病・事)
17. 4. 1	病院総務係長(医・総)	野呂 公代	総務グループ係長(理工)
17. 4. 1	管理グループ係長(術・管)	階上 忠仁	総務グループ係長(理工)
17. 4. 1	総務企画グループ係長(学・教)	成田 明	総務グループ係長(農生)
17. 4. 1	入試グループ主任(学・入)	奈良 正裕	予算グループ主任(財・財)
17. 4. 1	職員主任(医・総)	成田 洋子	就職支援グループ主任(学・生)
17. 4. 1	医学部分館グループ主任(術・医分)	宮川 順子	医学情報グループ主任(術・術)
17. 4. 1	総務グループ主任(理工)	中山 和芳	医学科総務グループ主任(医学)
17. 4. 1	広報企画主任(医・総)	秋元 弓子	医学科総務グループ主任(医学)
17. 4. 1	総務主任(医・学)	阿部 暁美	医学科学務グループ主任(医学)
17. 4. 1	庶務主任(医・総)	山口 百合子	保健学科グループ主任(医学)
17. 4. 1	庶務主任(医・総)	櫻庭 晋	総務グループ主任(病・総)
17. 4. 1	総務主任(医・管)	工藤 公樹	管理グループ主任(病・管)
17. 4. 1	外来主任(医・事)	奈良 昌晃	医療サービスグループ主任(病・事)
17. 4. 1	情報管理主任(医・事)	祐川 愛子	医療情報グループ主任(病・事)
17. 4. 1	施設事務グループ主任(施・企)	佐々木 美津子	総務グループ主任(理工)
17. 4. 1	病院施設グループ主任(施・環)	菊池 孝雄	本町施設グループ主任(施・環)
17. 4. 1	事務職員(医・総)	菊田 頼司	事務職員(総・人)
17. 4. 1	事務職員(医・総)	春日川 真寛	事務職員(総・人)
17. 4. 1	事務職員(医・学)	石川 真理	事務職員(総・人)
17. 4. 1	事務職員(人文)	吉田 将路	事務職員(総・人)
17. 4. 1	事務職員(医・総)	伊藤 譲	事務職員(総・人)
17. 4. 1	事務職員(人文)	酒井 篤史	事務職員(総・人)
17. 4. 1	事務職員(医・管)	備前 剛	事務職員(財・経)
17. 4. 1	事務職員(理工)	千葉 可奈子	事務職員(財・経)
17. 4. 1	事務職員(財・経)	成田 保教	事務職員(財・契)
17. 4. 1	事務職員(医・管)	天坂 晃吏	事務職員(学・教)
17. 4. 1	事務職員(医・事)	平田 成直	事務職員(学・入)
17. 4. 1	事務職員(財・契)	今 秀徳	事務職員(施・企)
17. 4. 1	事務職員(施・企)	田村 貴之	事務職員(施・整)
17. 4. 1	事務職員(施・環)	松永 健	事務職員(施・整)
17. 4. 1	事務職員(理工)	佐々木 大高	事務職員(施・整)
17. 4. 1	事務職員(施・整)	會津 利幸	事務職員(施・環)
17. 4. 1	事務職員(医・事)	船木 美里	事務職員(術・社)

[配置換]

発令年月日	現職(所属)	氏名	異動内容
17. 4. 1	事務職員(術・管)	大 津 雅 代	事務職員(術・術)
17. 4. 1	事務職員(術・管)	小 松 千 雪	事務職員(術・術)
17. 4. 1	事務職員(術・情)	中 田 晶 子	事務職員(術・術)
17. 4. 1	事務職員(術・管)	齋 藤 香 織	事務職員(術・術)
17. 4. 1	事務職員(術・医分)	佐 藤 友 紀	事務職員(術・術)
17. 4. 1	事務職員(術・情)	佐々木 菜生子	事務職員(術・術)
17. 4. 1	事務職員(術・医分)	佐々木 忠	事務職員(術・術)
17. 4. 1	事務職員(医・事)	工 藤 久美子	事務職員(術・術)
17. 4. 1	事務職員(術・医分)	須 田 久美子	事務職員(術・術)
17. 4. 1	事務職員(術・医分)	高 橋 郁	事務職員(術・術)
17. 4. 1	事務職員(術・医分)	関 寛 子	事務職員(術・術)
17. 4. 1	事務職員(術・管)	菅 原 佳	事務職員(術・基)
17. 4. 1	事務職員(術・管)	小 倉 広 実	事務職員(術・基)
17. 4. 1	事務職員(医・事)	工 藤 幸 子	事務職員(人文)
17. 4. 1	事務職員(財・経)	近 藤 恵美子	事務職員(医学)
17. 4. 1	事務職員(医・総)	成 田 知 子	事務職員(医学)
17. 4. 1	事務職員(医・事)	唐 崎 早 苗	事務職員(医学)
17. 4. 1	事務職員(医・管)	須 藤 智 子	事務職員(医学)
17. 4. 1	事務職員(医・学)	工 藤 良 子	事務職員(医学)
17. 4. 1	事務職員(医・管)	工 藤 かおり	事務職員(医学)
17. 4. 1	事務職員(医・管)	山 内 晶 代	事務職員(医学)
17. 4. 1	事務職員(医・学)	池 田 健	事務職員(医学)
17. 4. 1	事務職員(医・学)	佐 藤 香	事務職員(医学)
17. 4. 1	事務職員(医・総)	水 木 紘 子	事務職員(医学)
17. 4. 1	事務職員(財・経)	長 内 勇 剛	事務職員(医学)
17. 4. 1	事務職員(医・学)	小 原 幸 乃	事務職員(医学)
17. 4. 1	事務職員(医・管)	吉 田 富 嗣	事務職員(病・経企)
17. 4. 1	事務職員(総・人)	松 山 真 澄	事務職員(病・総)
17. 4. 1	事務職員(医・総)	今 壽 砂 代	事務職員(病・総)
17. 4. 1	事務職員(医・総)	板 垣 学	事務職員(病・総)
17. 4. 1	事務職員(医・事)	藤 林 宗	事務職員(病・総)
17. 4. 1	事務職員(医・学)	花 田 耕	事務職員(病・管)
17. 4. 1	事務職員(医・管)	須 田 誠 一	事務職員(病・管)
17. 4. 1	事務職員(医・管)	三 浦 大 成	事務職員(病・管)
17. 4. 1	事務職員(医・管)	高 松 達 典	事務職員(病・管)
17. 4. 1	事務職員(医・管)	及 川 秀 和	事務職員(病・管)
17. 4. 1	事務職員(医・管)	相 馬 久 美	事務職員(病・管)
17. 4. 1	事務職員(医・管)	嘉手苺 広一郎	事務職員(病・管)
17. 4. 1	事務職員(医・総)	三 上 結 美 子	事務職員(病・事)
17. 4. 1	事務職員(医・事)	堤 陽 子	事務職員(病・事)
17. 4. 1	事務職員(医・事)	山 崎 真 澄	事務職員(病・事)
17. 4. 1	事務職員(医・事)	明 岡 和 志	事務職員(病・事)
17. 4. 1	事務職員(医・事)	熊 谷 美 香	事務職員(病・事)
17. 4. 1	事務職員(医・事)	小 田 桐 高	事務職員(病・事)
17. 4. 1	事務職員(医・事)	右 京 達 也	事務職員(病・事)
17. 4. 1	事務職員(医・事)	成 田 雄	事務職員(病・事)
17. 4. 1	事務職員(医・事)	木 村 麻 子	事務職員(病・事)
17. 4. 1	事務職員(医・事)	小 林 志 乃	事務職員(病・事)
17. 4. 1	事務職員(医・事)	加 藤 秀 紀	事務職員(病・事)
17. 4. 1	事務職員(医・事)	及 川 望 美	事務職員(病・事)
17. 4. 1	事務職員(医・事)	塩 谷 育 代	事務職員(病・事)

[配置換]

発令年月日	現職(所属)	氏名	異動内容
17.4.1	事務職員(医・事)	成田 順一	事務職員(病・事)
17.4.1	事務職員(医・事)	村田 雅明	事務職員(病・事)
17.4.1	事務職員(医・事)	高屋 敷満寿	事務職員(病・事)
17.4.1	事務職員(術・管)	伊藤 咲子	事務職員(理工)
17.4.1	機械操作員(医・事)	川口 将	機械操作員(病・事)
17.4.1	治験薬管理主任(病院)	宇野 司	助手(医学)
17.4.1	講師(医学)	小川 吉司	講師(病院)
17.4.1	看護師(病院)	石岡 薫	助手(医学)
17.4.1	助産師(病院)	高木 和歌子	看護師(病院)
17.4.1	栄養管理室長(医・事)	平野 聖治	栄養管理室長(病・事)
17.4.1	栄養士(医・事)	須藤 信子	栄養士(病・事)
17.4.1	栄養士(医・事)	長田 史恵	栄養士(病・事)
17.4.1	栄養士(医・事)	三上 恵理	栄養士(病・事)
17.4.1	製剤主任(病院)	大泉 昭良	治験薬管理主任(病院)
17.4.1	薬品管理主任(病院)	野呂 秀紀	調剤主任(病院)
17.4.1	麻薬主任(病院)	下山 律子	薬務主任(病院)
17.4.1	調剤主任(病院)	工藤 正純	薬剤管理指導主任(病院)
17.4.1	薬務主任(病院)	福士 涼子	医薬品情報主任(病院)
17.4.1	薬剤管理指導主任(病院)	新岡 丈典	製剤主任(病院)
17.4.1	医薬品情報主任(病院)	金澤 佐知子	麻薬主任(病院)
17.4.1	臨床検査技師(病・輸)	榑引 美穂子	臨床検査技師(病・検)
17.4.1	臨床検査技師(病・検)	舛 甚満	臨床検査技師(病・輸)

[併任]

発令年月日	現職(所属)	氏名	異動内容
17.4.1	理事	中山 文夫	事務局長[18.1.31.まで]
17.4.1			経営協議会委員[18.1.31.まで]
17.4.1	財務部長	及川 洋輝	経営協議会委員[18.3.31.まで]
17.4.1	学務部長	吉田 平	教育研究評議会評議員[18.3.31.まで]
17.4.1	施設環境部長	市川 三男	教育研究評議会評議員[18.3.31.まで]
17.4.1	課長補佐(術・術)	齋藤 穂之	医学情報グループ係長(術・術)[18.3.31.まで]
17.4.1	教授(人文)	藁科 勝之	人文学部長[19.3.31.まで]
17.4.1			教育研究評議会評議員[19.3.31.まで]
17.4.1	教授(人文)	植木 久行	人文社会科学研究科副研究科長[18.3.31.まで]
17.4.1	教授(教育)	加藤 陽治	地域共同研究センター長[19.3.31.まで]
17.4.1	教授(教育)	羽賀 敏雄	教育学部附属教育実践総合センター長[18.3.31.まで]
17.4.1	教授(教育)	遠藤 孝夫	教育学部附属教員養成学研究開発センター長[19.3.31.まで]
17.4.1	教授(教育)	太田 伸也	教育学部附属中学校長[20.3.31.まで]
17.4.1	教授(教育)	面澤 和子	教育学部附属養護学校長[20.3.31.まで]
17.4.1	教授(理工)	倉又 秀一	留学生センター長[19.3.31.まで]
17.4.1			理工学部地球環境学科長[18.3.31.まで]
17.4.1	教授(理工)	牧野 英司	機器分析センター長[19.3.31.まで]
17.4.1	教授(理工)	雨森 道紘	附属図書館長[19.3.31.まで]
17.4.1	教授(理工)	本瀬 香	理工学部数理システム科学科長[18.3.31.まで]
17.4.1	教授(理工)	澤田 英夫	理工学部物質理工学科長[18.3.31.まで]
17.4.1	教授(理工)	齋藤 稔	理工学部電子情報システム工学科長[18.3.31.まで]
17.4.1	教授(理工)	伊藤 昭彦	理工学部知能機械システム工学科長[18.3.31.まで]
17.4.1	教授(農生)	新関 稔	農学生命科学部生物機能科学科長[18.3.31.まで]

[併任]

発令年月日	現職(所属)	氏名	異動内容
17.4.1	教授(農生)	石 黒 誠 一	農学生命科学部応用生命工学科長[18.3.31.まで]
17.4.1	教授(農生)	嵯 峨 紘 一	農学生命科学部生物生産科学科長[18.3.31.まで]
17.4.1	教授(農生)	高 橋 照 夫	農学生命科学部地球環境科学科長[18.3.31.まで]
17.4.1	教授(医学)	山 辺 英 彰	教授(教育)[18.3.31まで]
17.4.1	教授(医学)	棟 方 昭 博	医学部附属病院消化器内科科長
17.4.1			医学部附属病院血液内科科長
17.4.1			医学部附属病院膠原病内科科長
17.4.1	教授(医学)	奥 村 謙	医学部附属病院循環器内科科長
17.4.1			医学部附属病院呼吸器内科科長
17.4.1			医学部附属病院腎臓内科科長
17.4.1	教授(医学)	須 田 俊 宏	医学部附属病院内分泌内科科長
17.4.1			医学部附属病院糖尿病代謝内科科長
17.4.1			医学部附属病院感染症科科長
17.4.1			医学部附属病院神経内科科長
17.4.1	教授(医学)	福 田 幾 夫	医学部附属病院呼吸器外科科長
17.4.1			医学部附属病院心臓血管外科科長
17.4.1	教授(医学)	佐々木 睦 男	医学部附属病院消化器外科科長
17.4.1			医学部附属病院乳腺外科科長
17.4.1			医学部附属病院甲状腺外科科長
17.4.1	教授(医学)	泉 井 亮	医学部副学部長[18.1.31まで]
17.4.1	教授(医学)	正 村 和 彦	附属図書館医学部分館長[19.3.31まで]
17.4.1	教授(医・脳研)	佐 藤 敬	医学部附属脳神経血管病態研究施設長[19.3.31まで]
17.4.1	助教授(医学)	新 井 正 康	医学部附属病院救急部副部長[20.3.31まで]
17.4.1	助教授(医学)	阿 部 テル子	助教授(教育)[18.3.31まで]
17.4.1	教頭(附幼)	小 山 内 公 子	附属幼稚園副園長
17.4.1	教頭(附養)	高 橋 行 吉	附属養護学校副校長

[介護休業]

発令年月日	現職(所属)	氏名	異動内容
17.4.1	技術専門職員(学・教)	三 上 秀 秋	17.9.30まで

[復職]

発令年月日	現職(所属)	氏名	異動内容
17.4.1	事務職員(医・事)	工 藤 久 美 子	育児休業より
17.4.1	教諭(附小)	菊 池 圭 子	育児休業より
17.4.1	教諭(附小)	安 田 奈 津 子	育児休業より
17.4.1	看護師(病院)	村 上 久 美 子	育児休業より
17.4.1	看護師(病院)	須 藤 絵 利 子	育児休業より

[離職]

発令年月日	現職(所属)	氏名	異動内容
17. 3. 31	学務部長(学務)	工藤 祥雅	定年
17. 3. 31	施設環境部長(施設)	相川 洋光	定年
17. 3. 31	総務グループ係長(教育)	安田 誠子	定年
17. 3. 31	総務グループ係長(理工)	丹藤 直憲	定年
17. 3. 31	総務グループ係長(農生)	三戸 末文	定年
17. 3. 31	教務グループ主任(学・教)	野瀬 亮子	定年
17. 3. 31	園丁(学・教)	玉田 伸造	定年
17. 3. 31	医療福祉係長(医・事)	佐藤 一治	定年
17. 3. 31	検査助手(医)	瀧川 優子	定年
17. 3. 31	実験助手(医)	長谷川 はつゑ	定年
17. 3. 31	看護部長(病院)	須藤 明子	定年
17. 3. 31	副看護部長(病院)	村上 知子	定年
17. 3. 31	看護師長(病院)	葛西 千鶴子	定年
17. 3. 31	副看護師長(病院)	三橋 トワ子	定年
17. 3. 31	看護師(病院)	杉山 五百江	定年
17. 3. 31	看護師(病院)	齊藤 洋司	定年
17. 3. 31	教授(人文)	岡崎 英輔	定年
17. 3. 31	教授(教育)	祇園 全禄	定年
17. 3. 31	教授(教育)	比良木 高幸	定年
17. 3. 31	教授(教育)	難波 完爾	定年
17. 3. 31	教授(教育)	天野 敦子	定年
17. 3. 31	教授(理工)	川口 節雄	定年
17. 3. 31	教授(理工)	山下 努	定年
17. 3. 31	教授(農生)	原田 幸雄	定年
17. 3. 31	教授(農生)	奥野 智旦	定年
17. 3. 31	教授(医学)	皆川 智子	定年
17. 3. 31	教授(医学)	高橋 元	定年
17. 3. 31	助教授(医学)	滝口 雅博	定年
17. 3. 31	理事(財務担当)	三國 治	辞職
17. 3. 31	経理グループ係長(財・経)	水木 精治	辞職
17. 3. 31	就職支援グループ係長(学・生)	皆川 恭一	辞職
17. 3. 31	看護師長(病院)	鳴海 雅子	辞職
17. 3. 31	副看護師長(病院)	柴田 惠美子	辞職
17. 3. 31	助教授(医学)	山内 久子	辞職
17. 3. 31	教授(人文)	伊藤 守幸	辞職
17. 3. 31	助教授(人文)	春日 修	辞職
17. 3. 31	助教授(人文)	根本 伸一	辞職
17. 3. 31	講師(教育)	砂上 史子	辞職
17. 3. 31	講師(医学)	山岸 晋一朗	辞職
17. 3. 31	講師(医学)	松永 敏郎	辞職
17. 3. 31	助手(医学)	坂野 晶司	辞職
17. 3. 31	助手(医学)	川嶋 啓明	辞職
17. 3. 31	助手(医学)	丹野 高三	辞職
17. 3. 31	助手(医学)	片貝 宏	辞職
17. 3. 31	助手(医学)	伊東 和雄	辞職
17. 3. 31	助手(医学)	山田 恭吾	辞職
17. 3. 31	助手(医学)	土岐 栄喜	辞職
17. 3. 31	助手(医学)	長谷川 至	辞職
17. 3. 31	助手(医学)	篠崎 信世	辞職
17. 3. 31	助教授(病院)	三上 誠治	辞職
17. 3. 31	講師(病院)	岡田 晶博	辞職

[離職]

発令 年月日	現職(所属)	氏名	異動内容
17. 3. 31	講師(病院)	福井 朗	辞職
17. 3. 31	助手(病院)	長谷川 幸裕	辞職
17. 3. 31	助手(病院)	篠崎 直子	辞職
17. 3. 31	助手(病院)	平尾 良範	辞職
17. 3. 31	助手(病院)	畑 中 亮	辞職
17. 3. 31	助手(病院)	佐藤 英樹	辞職
17. 3. 31	助手(病院)	横山 祥平	辞職
17. 3. 31	助手(病院)	黒田 令子	辞職
17. 3. 31	助手(病院)	場崎 潔	辞職
17. 3. 31	助手(病院)	坂本 知巳	辞職
17. 3. 31	助手(病院)	吉川 朋成	辞職
17. 3. 31	助手(病院)	久留島 徹大	辞職
17. 3. 31	教務職員(理工)	野呂 和代	辞職
17. 3. 31	教頭(附幼)	増田 恭子	辞職
17. 3. 31	教諭(附幼)	佐藤 前子	辞職
17. 3. 31	教諭(附小)	工藤 郁子	辞職
17. 3. 31	教諭(附小)	松尾 健治	辞職
17. 3. 31	教諭(附小)	八木橋 直哉	辞職
17. 3. 31	教諭(附小)	松橋 豊	辞職
17. 3. 31	教諭(附小)	岩谷 都志子	辞職
17. 3. 31	教諭(附中)	工藤 昭彦	辞職
17. 3. 31	教諭(附中)	村上 弘恭	辞職
17. 3. 31	教諭(附中)	笹森 賢司	辞職
17. 3. 31	教諭(附中)	大友 啓文	辞職
17. 3. 31	教諭(附中)	工藤 尋美	辞職
17. 3. 31	教諭(附中)	成田 素子	辞職
17. 3. 31	養護教諭(附中)	新谷 ますみ	辞職
17. 3. 31	教頭(附養)	工藤 茂	辞職
17. 3. 31	教諭(附養)	山口 朋子	辞職
17. 3. 31	教諭(附養)	清野 静子	辞職
17. 3. 31	看護師(病院)	大瀬 富士子	辞職
17. 3. 31	看護師(病院)	工藤 貴子	辞職
17. 3. 31	看護師(病院)	七戸 晴子	辞職
17. 3. 31	看護師(病院)	丹羽 直子	辞職
17. 3. 31	看護師(病院)	本間 仁美	辞職
17. 3. 31	看護師(病院)	千葉 朝子	辞職
17. 3. 31	財務部長(財務)	高橋 一利	辞職
17. 3. 31	事務部次長(医学)	椎名 幸男	辞職
17. 3. 31	総務課長(総務)	吉田 元重	辞職
17. 3. 31	情報サービス課長(学情)	能村 浩次	辞職
17. 3. 31	管理課長(医学)	山崎 賢司	辞職
17. 3. 31	学務課長(医学)	長尾 義昭	辞職
17. 3. 31	職員グループ係長(総・人)	大川 卓男	辞職
17. 3. 31	事務職員(施・整)	金井 圭	辞職
17. 3. 31	事務職員(総・人)	川村 優	辞職
17. 3. 31	事務職員(医・管)	月岡 美賀子	辞職
17. 3. 31	教授(医学)	川原 礼子	辞職
17. 3. 31	助教授(理工)	石本 淳	辞職
17. 3. 31	教諭(附中)	大湯 由香利	辞職
17. 3. 31	診療放射線技師(病院)	南 雲 淳也	辞職

[離 職]

発令年月日	現職(所属)	氏名	異動内容
17. 3. 31	看護師長(病院)	池 田 江 里	辞職
17. 3. 31	看護師(病院)	小 田 桐 和 恵	辞職
17. 3. 31	看護師(病院)	米 谷 紀 子	辞職
17. 4. 1	看護師(病院)	工 藤 う み	退職(17. 3. 31限り任期満了)
17. 4. 1	看護師(病院)	三 浦 和	退職(17. 3. 31限り任期満了)
17. 4. 1	看護師(病院)	藤 田 和 可 子	退職(17. 3. 31限り任期満了)
17. 4. 1	看護師(病院)	川 井 美 鈴	退職(17. 3. 31限り任期満了)
17. 4. 1	教諭(附小)	北 谷 美 樹	退職(17. 3. 31限り任期満了)
17. 4. 1	教諭(附養)	神 美 聡	退職(17. 3. 31限り任期満了)
17. 4. 1	教諭(附養)	三 上 久 仁 子	退職(17. 3. 31限り任期満了)

■ 主要日誌

- 4月1日 学長オフィスアワー
- 4日 役員会
- 5日 平成17年度弘前大学入学式（弘前市民会館）
平成17年度弘前大学大学院入学式（創立50周年記念会館みちのくホール）
- 6日 青森県知事と医学部医学科新入生との懇談会（医学部医学科）
名誉博士称号授与式
名誉博士受章記念講演会（創立50周年記念会館みちのくホール）
- 7日 平成17年度岩手大学大学院連合農学研究科入学式（岩手県民会館）
第180回岩手大学大学院連合農学研究科代議員会（SCS）
教育学部附属小学校入学式（附属小学校）
教育学部附属養護学校入学式（附属養護学校）
教育学部附属中学校入学式（附属中学校）
- 11日 教育学部附属幼稚園入園式（附属幼稚園）
役員会
- 12日 連絡調整会議
教育研究評議会
- 14日 事務連絡会議
- 18日 平成17年度全国医学部長病院長会議「東北・北海道」ブロック会議（～19日 札幌医科大学）
役員会
- 19日 経営協議会
21世紀教育教務専門委員会
- 20日 学長定例記者会見
- 21日 第5回北海道・東北地区国立大学法人理学部長会議（理工学部）
学長オフィスアワー
21世紀教育FD・広報専門委員会
- 25日 役員会
- 26日 21世紀教育センター運営委員会
- 27日 教育・学生委員会

■ 学内規則

(平成17年3月7日制定・平成16年4月1日適用)

- 弘前大学旧制官立弘前高等学校外国人教師館規程

(平成17年3月2日制定・平成16年4月1日適用)

- 弘前大学共用スペース利用細則

(平成17年3月28日制定)

- 国立大学法人弘前大学学長候補者選考規程
- 国立大学法人弘前大学学長候補者選考規程施行細則
- 国立大学法人弘前大学学長解任手続規程
- 国立大学法人弘前大学保有個人情報管理規程
- 国立大学法人弘前大学保有個人情報開示等手続規程

(平成17年3月14日改正・平成17年4月1日施行)

- 弘前大学学則の一部改正

以下の理由によりこの規則の一部を改正した。

- ①人文学部に置く課程の名称及び入学定員を変更するため。
- ②高等学校卒業程度認定試験規則（平成17年文部科学省第1号）の施行に伴い、入学資格に関する規定を改めるため。

- 弘前大学大学院学則の一部改正

医学研究科を医学系研究科とし、新たに保健学専攻（修士課程）を設置するためこの規程の一部を改正した。

- 弘前大学における講座に関する規程の一部改正

以下の理由によりこの規程の一部を改正した。

- ①人文学部に置く課程の名称を変更するため。
- ②医学研究科の名称を医学系研究科に変更するため。

- 弘前大学医学部規程の一部改正

以下の理由によりこの規程の一部を改正した。

- ①保健学科のカリキュラムに共通コア科目を新設するとともに、授業科目配列の順序性・整合性を改善し、教育目的の効果的な達成を図るため。
- ②保健学科における転専攻に関する事項を定めるため。

- 弘前大学大学院医学研究科規程の一部改正

医学研究科の名称を医学系研究科に変更し、保健学専攻（修士課程）を設置することに伴い、この規程の一部を改正した。

- 弘前大学医学部附属病院規程の一部改正

医学研究科の名称を医学系研究科に変更することに伴い、この規程の一部を改正した。

○ 弘前大学名誉博士称号授与規程の一部改正

名誉博士記の様式を変更するため、この規程の一部を改正した。

○ 国立大学法人弘前大学防火管理規程の一部改正

共用スペースの火元責任者に係る規定を追加するため、この規程の一部を改正した。

(平成17年3月15日改正・平成17年4月1日施行)

○ 弘前大学学則の一部改正

授業料の標準額が改定されることに伴い、学部学生の授業料を標準額と同額にするとともに、科目等履修生、研究生及び聴講生の授業料を改定するため、この規則の一部を改正した。

○ 弘前大学大学院学則の一部改正

授業料の標準額が改定されることに伴い、大学院学生の授業料を標準額と同額にするとともに、科目等履修生、研究生及び聴講生の授業料を改定するため、この規則の一部を改正した、

(平成17年3月28日改正・平成17年4月1日施行)

○ 国立大学法人弘前大学管理運営規則の一部改正

以下の理由によりこの規程の一部を改正した。

- ① 事務局長に関する規定を整備するため。
- ② 事務連絡会議を廃止するため。

○ 国立大学法人弘前大学事務組織規程の一部改正

各理事と当該理事に直結した事務局各部が、所掌事務を迅速かつ効率的に執行できる体制を強化するため、この規程の一部を改正した。

○ 国立大学法人弘前大学情報公開委員会規程の一部改正

情報公開委員会を情報公開・個人情報保護委員会に改組し、本学の保有する個人情報の適切な管理及び保有個人情報の開示請求等に対応するため、この規程の一部を改正した。

○ 国立大学法人弘前大学情報公開取扱規程の一部改正

以下の理由によりこの規程の一部を改正した。

- ① 独立行政法人等の保有する情報の公開に関する法律の一部改正及び国立大学法人弘前大学管理運営規則の一部改正に伴い、所要の改正を行うため。
- ② 条文及び様式の一部を整理するため。

(平成17年3月30日改正・平成17年4月1日施行)

○ 弘前大学医学部附属病院規程の一部改正

内科及び外科の診療科名を変更するとともに、新たに神経内科を設置するため、この規程の一部を改正した。

○ 弘前大学における講座に関する規程の一部改正

医学部医学科の衛生学講座と公衆衛生学講座を統合し、社会医学講座とするため、この規程の一部を改正した。

弘前大学学報第13号

弘前大学総務部総務課
036-8560 弘前市文京町1
電話 (0172)36-2111